

令和6年度 岡崎市博物資料収集委員会会議録

- 1 開催日時
令和6年12月27日（金） 午後2時から午後3時40分まで
- 2 開催場所
美術博物館1階会議室
- 3 出席委員
小池富雄委員長・鷹巣純委員・仲野泰裕委員・松島周一委員・小早川道子委員
- 4 説明のため出席した事務局職員
榊原悟特任館長・加藤健一郎社会文化部長・大澤一実館長
小幡早苗主任主査・湯谷翔悟主査・山下葵主事・安本翔音主事・伊藤久美子会計
年度任用職員
- 5 会議の成立
委員5名全員出席のため、岡崎市博物資料収集委員会要綱第4条第2項の規定により、会議の成立を確認した。
- 6 会議の公開・非公開について
岡崎市情報公開条例第7条に規定する非開示情報を取り扱うため、本会議について非公開とした。
- 7 会議の内容
収集候補資料8件（購入2件、寄附5件、寄託1件）について、事務局から説明した後、資料を実見した。
審議の結果、上記の資料について、全会一致で収集が妥当との結論が出た。委員の意見等は以下のとおり。
【購入資料】
 - ・調書番号1-1 大磯義雄文庫（追加）
巻がそろっていないもの、虫損など状態が悪いものもあるが、鶴田卓池など地域にかかわるものも含まれる。研究者が集めたものは研究上必要なものと考えられ、これまでに受入れた大磯義雄文庫との体系性も考慮し、一括での受入れに異議はない。
 - ・調書番号1-2 徳川二十一将図
状態はあまり良くないが、二十一将図は初見の資料。絵の出来は良く、水濡れの跡があるが絵具も良く残っている。江戸時代の作と認められ、近世の徳川創業期の家臣団を考える上でも良い研究材料となる。デジタル画像で公開するなど、展示だけではなく様々な方法で全国の人々に広めるよう、活用の仕方を検討してもらいたい。受入れに異議はない。**【寄附資料】**

- ・ 調書番号 2-1 大磯義雄文庫（追加）
調書番号 1-1 と同様に、大磯義雄文庫として一括で当館で保管・活用を図るべきである。受入れに異議はない。
- ・ 調書番号 2-2 岡崎城修復絵図
状態が非常に良く、研究・展示に活用できる。年代も特定でき、記載内容も精確で資料価値が高い。岡崎城を知るうえでこの上ない資料で、受入れに異議はない。
- ・ 調書番号 2-3 深見家佐兵衛家資料
衣服は捨てられてしまうことが多く、その中で本資料群は、当時の風俗を示すものとして貴重。衣服は同じ時代でも階層差が大きいため、その点に留意して展示・活用を図っていただきたい。受入れに異議はない。
- ・ 調書番号 2-4 木目込み雛人形
当時流行した形の雛人形で、綺麗な状態である。昭和 50 年代に入り大型の段飾り雛人形が縮小化していき、後半になって再度豪華なものが復活するが、その頃のものである。流行の変遷、時代背景の解説とを併せた展示を期待する。受入れに異議はない。
- ・ 調書番号 2-5 脇差 銘 三陽額田郡藤原大道
17 世紀、全国で名工の生まれる時代において当地に縁のある重要な資料。寄附にあたり新しく研磨され、刀剣の美しさを感じられる。受入れに異議はない。

【寄託資料】

- ・ 調書番号 3-1 杉浦家文書
松平太郎左衛門家は不明な点が多い。近世の幕府と家の分析から中世に敷衍する手法をとる必要があり、研究を進めていくためにも大事な資料である。資料が少ない中で、松平氏発祥地の旗本として特別な待遇を受けていたことを可視的に示す資料であり、受入れに異議はない。